

学習の指針（シラバス）						
教科名	国語	実施学年	3年	週時間	3時間	
1. 学習の目標						
学習の目標	(1) 国語に対する関心を深め、自分の考えを表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。 (2) 自分の考えを豊かにしたり深めたりして、目的や立場に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。 (3) 自分の考えを豊かにしたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く。 (4) 目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。 (5) 表現と理解に役立てるための音声、語句、語彙（ごい）、文法、漢字等について理解し、知識を身に付けている。書写では文字を正しく整えて速く書く。					
	使用教科書 教科書：伝え合う言葉中学国語3（教育出版） 副教材等 副教材：よくわかる国語の学習（明治図書）、スパッと攻略！国文法（光村教育出版） 単元別漢字（秀学社）					
前期	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価	
	4	春に	・言葉の中の春を読む。言葉が抽象的であるため、語句の効果的な使い方や表現上の工夫に注意して理解する。テーマとなる春から誰もが抱く、様々な感情を共感的に感じ取る。	漢字 20問	ノート プリント	
	5	立ってくる春	・「私」が「立春」の「かたち」を決めていく過程を捉える。生活と言葉との関わり、自分自身と言葉との関わりを意識する。		漢字テスト	
	6	私	・前半部と後半部における、情報と個人に対する登場人物の反応を捉え、社会との関係における自分の存在について思いを巡らせ意見を持つ。		期末テスト	
	7	近代の俳句・詩	・俳句・詩の表現法、文学史知識を学び、作品に詠まれた情景や心情を味わう。			
		呉音、漢音、唐音	・漢字の音の歴史についての理解を深める。			
		新しい博物学の時代	・論理の構成や展開、文脈における語句の効果的な使い方などを理解する。			
		無言館の青春	・戦没画学生の絵や残された品々についての記述から彼らがどのような状況におかれのかを理解する。			

	9	情報を編集するしかけ 歴史は失われた過去か	・新聞記事・テレビニュースの報道を比較して読む。		
	10	文化としての科学技術 敬語・文法	・事例の取り上げ方や述べ方の工夫を捉え、筆者の提起している課題を共有する。 ・今までの学習内容の復習		
後期	11	旅への思い 奥の細道	・歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解して味わう。	漢字 20問	ノート プリント 漢字テスト 学年末テスト
	12	和歌の調べ(万葉・古今・新古今)	・和歌の文学史や修辞法を学習し、和歌に詠まれた情景や心情を味わう。		
	1	風景と心情	・詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱する。		
	2	最後の一句 故郷	・我が国を代表する文学的作品に触れる。 ・作品の書かれた時代背景を理解する。 ・人物の心情を捉えながら、主題を読み取る。		
		入試に向けた演習授業	・高校入試に向けて実践力を養う。		

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	漢字の読み書きや熟語の構成、古文単語、漢文の返り点など、問題に正しく解答できるように学んだ知識を活用する。それぞれの問題に対してどの知識を活用すればよいのか見極める。	☆小テスト ・ノート、プリント ・定期テスト
思考・判断・表現	相手や目的、意図に応じ、文章を書き、自分の考えを明確にしようとしている。定期テストにおける論述問題や、授業での感想文といったプリントなどで判断する。	・定期テスト ☆作文
主体的に学習に向かう態度	様々な形態の文章や言語事項等に対し、自分なりの解釈を持つことや、他者の考えに対して意見を持つこと。自らの考えを更に広げたり、深めたりしている。ノートやプリントに書いてあることや課題への取り組み（提出物と小テスト）、授業中の発言の量も参考にする。	☆小テスト ・ノート、プリント ・ワーク（家庭学習の取り組み） ☆授業中の発言、参加状況

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

学習の指針（シラバス）					
教科名	数学	実施学年	3年	週時間	4時間
1、学習の目標					
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> 数の平方根などの数の概念についての理解している。また、目的に応じて計算したり式を変形したりすることができ、二次方程式を理解し用いることができる。 具体的な事象を調べることを通して、二次関数について理解するとともに、関数を見出し表現し考察することができる。 図形の相似、円周角と中心角の関係や三平方の定理について、観察、操作や実験などの活動を通して理解している。また、それらの図形の性質を考察し計量に用いることができ、図形について見通しをもって論理的に考察、表現することができる。 				
使用教科書 副教材等	教科書：新しい数学3（東京書籍） 副教材：数学の学習ノート3年（正進社）・千葉県入試対策問題4回分（新学社）				
2、学習計画及び評価方法等					
月	学習内容	備考	評価		
前期 4 5 6 7 9	1章 多項式 1節 多項式の計算 2節 因数分解 3節 式の計算の利用 2章 平方根 1節 平方根 2節 根号を含む式の計算 3節 平方根の利用 3章 2次方程式 1節 2次方程式とその解き方 2節 2次方程式の利用 4章 関数 $y=ax^2$ 1節 関数 $y=ax^2$ 2節 関数の性質と調べ方 3節いろいろな関数の利用	単元テスト（5月） 単元テスト （6・7月） 期末テスト（9月）	<ul style="list-style-type: none"> 授業での発表内容 単元、期末テスト及びテスト直しの内容 授業に取り組む姿勢 学び合い、教え合い活動への取り組み状況 課題やレポートへの取り組み 		
後期 10 11 12	5章 相似な図形 1節 相似な図形 2節 平行線と比 3節 相似な図形の面積と体積 6章 円 1節 円周角の定理 2節 円周角の定理の利用	単元テスト（11月）	<ul style="list-style-type: none"> 授業での発表内容 単元、期末テスト及びテスト直しの内容 授業に取り組む姿勢 学び合い、教え合い活動への取り組み状況 課題やレポートへの取り組み 		

	1	7章 三平方の定理 1節三平方の定理 2節 三平方の定理の利用	期末テスト（1月）	
	2	8章 標本調査 1節 標本調査		
	3	8章が終わり次第、 受験に向けて予想問題等の演習		

※実際の進行状況により、上記計画から変更になることがあります。

3、評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などに関する基礎的な概念、原理、法則、用語、記号などを理解して、知識を身に附けている。 ・式の展開、因数分解、平方根を含む計算を正しい手順で計算できるとともに、2次方程式を解くことができる。 ・図形の性質を理解し、性質を論理的に確かめることができる。 ・関数を的確に表現できる。また、標本調査を理解し、適切に表現できる。 	授業での発表内容☆ 単元・期末テスト及びテスト直しの内容
思考 判断 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての知識や技能を活用し、考えを見出したり、深めたり、論理的に考察できる。 ・自分の考えをわかりやすくまとめ、それを的確に表現できる。 	授業での発表内容☆ 単元・期末テスト及びテスト直しの内容
主体的に 学習に 向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能の獲得や思考力・判断力・表現力等を身につけることに向けて、粘り強く取り組んでいる。 ・自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしている。 ・課題やレポートに対して取り組んでいる。 	授業に取り組む姿勢☆ 学び合い・教え合い活動への取り組み状況☆ 課題への取り組み

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

※ノートなどの提出物に関する評価については、別紙で詳細を説明します。

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A = 3点、B = 2点、C = 1点として3つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

9点⇒「5」 8点⇒「4」 5～7点⇒「3」 4点⇒「2」 3点⇒「1」

学習の指針（シラバス）

教科名	理科	実施学年	3年	週時間	4時間
-----	----	------	----	-----	-----

1. 学習の目標

学習の目標	(1) 力のはたらき方、物体の運動、エネルギーについて、実験を通して理解するとともに、身のまわりの現象を学習したことと関連付けて説明できる。
	(2) 生物の成長を細胞の観点から考え、子孫の残し方や遺伝の決まりについて理解を深めることができる。
	(3) 生物が食べる食べられる関係でつながっていて、お互いに影響しあいながらバランスを保っていることを理解し、人が生態系に大きな影響を与えていることを認識することができる。
	(4) 電気分解、化学電池、中和反応などについて、実験を通して理解を深めるとともに、いろいろな現象を、原子やイオンなどの微視的な考え方で説明することができる。
	(5) 天体の1日の動きや、四季の星座、季節変化について、その仕組みを説明できるようになるとともに、太陽や太陽系に属する天体、銀河系の構造や宇宙の広がりについて興味を持つことができる。
	(6) 自分たちが生活している地域の自然環境に興味を持ち、自然のもたらす恵みや災害について理解を深めるとともに大きく地球全体の現象に目を向け、積極的に情報を集め、理解することができる。
	使用教科書 副教材等

2. 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	備考	評価
前期	4	単元1 運動とエネルギー 1章 力のはたらき	ワークの提出は単元テストごとに行う	*ノート、プリント、ワーク
	5	2章 物体の運動		*実験レポート
	6	3章 仕事とエネルギー		*単元テスト類
	7	単元2 生命の連續性 1章 生物の成長とふえ方 2章 遺伝の規則性と遺伝子		*定期テスト
	9	単元4 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン	ワークの提出は単元テストごとに行う	*ノート、プリント、ワーク
	10	2章 酸・アルカリとイオン		*実験レポート
	11	単元5 地球と宇宙 1章 天体の1日の動き 2章 天体の1年の動き 3章 太陽と月 4章 太陽系と銀河系		*単元テスト類 *定期テスト
後期	12			

後期	1	単元3 自然界のつり合い 1章 自然界のつり合い	ワークの提出は単元テストごとに行う	*ノート、プリント、ワーク *実験レポート *単元テスト類 *学年末テスト
	2	単元6 地球の明るい未来のために 身近な自然環境を調査しよう 1章 自然環境と人間のかかわり		
	3	2章 くらしを支える科学技術 3章 たいせつなエネルギー資源		

※実際の進行状況により、上記計画から変更になることがあります。

3. 評価について

評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理法則を理解し、正しく活用することができる。 ・それぞれの問題に対してどの知識を活用すればよいかを、授業の様子やテストの結果から総合的に判断する。 ・観察・実験の基本的な技能が身についているか、細かく観察しているか、結果を表やグラフに的確に処理しているか、テストの知識・技能問題の結果から、総合的に判断する。 	☆単元テスト ☆授業内での課題 ・ノート、プリント、ワーク ☆授業中の発言、参加状況
思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象の中に問題を見出し、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、表現しようとしている。 ・観察・実験からわかるなどを深く考察しているか、科学的な考え方方が身についているか、考察を丁寧にまとめ、仲間の前で発表しているか、また、テストの思考問題の結果から、総合的に判断する。 	☆単元テスト ☆授業内での課題 ・ノート、プリント、ワーク ・定期テスト ☆授業中の発言、参加状況
主体的に学習する態度	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身につけていく。 ・授業への取り組み方(挙手発表、姿勢など)、提出物(観察・実験のレポート、ノート、ワークなど)、学習内容を日常生活に関連付けているか、テストの結果から、総合的に判断する。 	☆授業中の発言、参加状況 ☆授業への取り組み

☆印の項目は、授業を欠席した場合には、評価に含めることができない場合があります。

学習の指針（シラバス）

教科名	社会	実施学年	3年	週時間	4時間
-----	----	------	----	-----	-----

1. 学習の目標

学習の目標	<p>(1)近現代の歴史を学ぶことで、2つの世界大戦に我が国がどのように関わってきて、戦後どのように歩んできたかを理解できる。</p> <p>(2)日本国憲法の基本原理について、具体的な生活との関わりを通して理解する。また、自由・権利と責任・義務の関係が社会生活の基本となっていることを理解できる。</p> <p>(3)身近で具体的な事例を通して、日本の政治の仕組みについて理解し、政治に関心を持ち、主権者として政治に積極的に関わろうとする姿勢を身に付ける。</p> <p>(4)身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解する。また、現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解する。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：新しい社会 歴史（東京書籍）、新しい社会 公民（東京書籍）</p> <p>副教材：よくわかる社会の学習 歴史2・3（明治図書）</p> <p>資料カラー歴史（浜島書店）</p>

2. 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	評価
前期	4	日清・日露戦争と近代産業	ノート プリント
	5	第一次世界大戦と日本	定期テスト 単元テスト
	6	世界恐慌と日本の中国侵略	
	7	第二次世界大戦と日本	
	9	現代の日本と世界	
	10	現代社会と私たちの生活	
後期	10	現代の民主政治と社会	ノート プリント
	11	個人の尊重と日本国憲法	定期テスト 単元テスト
	12	現代の民主政治と社会	
	1	私たちの暮らしと経済	
	2	地球社会と私たち 入試に向けた演習授業	

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について主体的に調べ分かろうとして学習上の課題を意欲的に解決しようとする態度や、よりよい社会の実現に向けて、多面的・多角的に考察、構想（選択・判断）したことを社会性生活に活かそうとする態度。ノートやプリントに書いてあることや宿題・課題の取り組み（提出物と単元テスト）。授業中の発言の量も参考にする。	・ノート、プリント ・定期テスト ・単元テスト
社会的な思考・判断・表現	社会的事象から課題を見いだし、社会的事象の意義や特色を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現する。ノートやプリントに書いてあることや定期テストにおける論述問題で判断する。	・ノート、プリント ・定期テスト
社会的事象についての知識・技能	歴史的事象や現代社会や国際社会、法の仕組みや政治・経済の知識を身につけている。	・定期テスト ・単元テスト

学習の指針（シラバス）					
教科名	外国語	実施学年	3年	週時間	4時間

1、学習の目標

学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・話された内容や説明の要点をとらえることができる。(聞くこと) ・まとまりのある文章を読んで、要点をとらえることができる。(読むこと) ・聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。(話すこと・やり取り) ・考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。(話すこと・発表) ・聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。(書くこと)
使用教科書 副教材等	教科書：New Horizon 3 副教材：Smile English3・入試リハーサル英語

2、学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	備考	評価
前期	4 5 6 7 9	Unit0 Discover a New Side of Classmates Unit1 What is special about Japanese pop culture? Unit2 How do you choose your clothes? Unit3 How can we save animals? Stage Activity1 Unit4 How can we help each other in a disaster?	Performance test については後日説明します。	プリント パフォーマンステスト 授業態度 単元テスト 期末テスト 単語テスト：副教材が届き次第、詳しく説明します
後期	10 11 12 1 2,3	Unit5 What makes a good leader? Unit6 What does it mean to be a global citizen? Stage Activity2 Stage Activity3 総合問題(入試対策)	Performance test については後日説明します。	プリント パフォーマンステスト 授業態度 単元テスト 期末テスト

※実際の進行状況により、上記計画から変更になることがあります。

3、評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項や文の意味・形・用法を理解できる。</p> <p>[技能] 英語の特徴やきまりを用いて<u>英文を正確に聞き取ることや、情報を読み取ること、そして正確な英文を書くことができる。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト <p>☆授業内の課題 (プリント・ワーク・アクティビティ等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末テスト <p>☆パフォーマンステスト</p>
思考・判断・表現	<p>自分が必要とする情報を得るために、日常的な話題や物語、体験談、海外の生活などについて書かれた文章を読んで、<u>必要な情報を読み取ることができる。また、相手からの質問に対してその場で適切に応答したり、関連する質問をしたり、簡単な語句や文を用いて話すことや書くことができる。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト <p>☆授業内の課題 (プリント・ワーク・アクティビティ等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末テスト <p>☆パフォーマンステスト</p>
主体的に学習に向かう態度	<p>関心のある事柄や体験したことなどを、聞き手、読み手、話し手、書き手などそれぞれに配慮しながら、<u>主体的に英語を用いて話そうとしたり、書こうとしたり、読み取ろうとしたりしている。</u></p>	<p>☆授業態度</p> <p>☆パフォーマンステスト</p>

☆印の項目は、授業を欠席した場合、評価に含めることができないことがあります。

※パフォーマンステスト実施日については、授業進度によってお知らせします。

学習の指針（シラバス）

教科名	音楽	実施学年	3年	週時間	1時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

学習の目標	(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。 (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聞くことができる。 (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しむ。
使用教科書 副教材等	教科書：教育芸術社 「中学生の音楽 2・3下」「中学生の器楽」 副教材：音楽ファイル、歌声ファイル

2 学習計画及び評価

学期	月	学習内容	評価
前期	4	曲に込められた想い	ワークシート
	5	日本の伝統文化にふれる「能」	
	6	歌詞の意味を探る 「学年合唱」	学習カード 実技テスト
	7	曲の良さを共有する 「学級合唱」	学習カード
	9	より質の高い合唱の追求	学習カード
	10	「学級合唱」	実技テスト
後期	11	作曲者の想いと、曲の歴史的背景を理解して鑑賞しよう。 「ブルタヴァ」「革命（ショパン）」「革命（ショスタコーヴィチ）」	学習カード ワークシート
	12	歌唱力をつける 「学年合唱」	学習カード
	1		学習カード
	2	豊かな表現の工夫 感動の合唱を創る	楽譜
	3	「学年合唱」	

3 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none">・音楽を表現するための基礎的な技能を身につけている。・合唱においてパートの役割を認識し、全体の響きやバランスを考えて歌唱している。	学習カード 実技テスト
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none">・音や音楽の良さを感じ取り、それらを音楽活動の中で工夫ようとしている。・音楽の良さや美しさについて、音楽的要素を用いて説明できる。また、楽曲構成について文章や言葉で表現できる。・音楽の歴史的・文化的背景と共に様々な音楽の固有の価値を理解し、主体的に音楽を聴き取っている。	学習カード 実技テスト ワークシート
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none">・音楽に親しみ、音楽活動を積極的に行っている。・意欲的に歌唱・演奏に取り組んだ。・集中して鑑賞しようとしている。	学習カード 授業の参加状況 ワークシート

学習の指針（シラバス）

教科名	美術	実施学年	3年	週時間	1時間
-----	----	------	----	-----	-----

1. 学習の目標

学習の目標	(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができる。 (2)自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。 (3)主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。
使用教科書 副教材等	美術2・3(開隆堂出版) アクリル絵の具 クロッキー帳 絵画素材 デザイン素材など

2. 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	備考	評価
前期	4	「世界観や魅力を伝える」	絵本作り 表現の多様性	作品 クロッキー帳
	6	「鑑賞カルタ」	材料との出会い、デザイン	アイデアスケッチ
	7	「造形実験」	文字の理解、道具の扱い	ストーリーボード 鑑賞ワークシート
	10	「15歳、私は今を生きている」		制作中の態度 材料の工夫
後期	11	「15歳、私は今を生きている」	卒業制作、3年間の学びの集大成	

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・自分独自のアイデアが作品に反映されているか ・作品の仕上げが丁寧に美しくできているか ・材料や道具の特性を理解し、適切な使用ができているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の出来ばえ(形、色彩、仕上げの美しさ) ・道具の使い方
思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を理解し、アイデアをまとめることができているか ・作品のよさや制作意図を感じることができたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ ・ストーリーボード(制作意図) ・道具・材料の工夫 ・鑑賞文の内容と量
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度(制作に集中して取り組むことができているか) ・制作に必要な自分の資料を用意することができているか ・提出物(完成したもの)を期限内に提出することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・提出物 ・自己評価シート

学習の指針（シラバス）

教科名	技術	実施学年	3年	週時間	0.5 時間
-----	----	------	----	-----	--------

1. 学習の目標

学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活や技術について関心をもち、生活を充実向上するためにすすんで実践することができる。 ● 生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫創造できる。 ● 生活に必要な基礎的・基本的な技術を身に付けることができる。 ● 生活や技術に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生活と技術とのかかわりについて理解できる。
使用教科書 副教材等	教科書：技術分野(開隆堂) 副教材：ハンドノート技術分野（正進社）

2. 学習計画及び評価方法等

月	学習内容	学習のねらい	評価
4 5 6 7	生物育成に関する技術 作物の栽培 生物育成に関する技術の評価・活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 生物育成の意味と目的、生活における役割を知る。 ● 生活に有効活用されている生物育成技術の流れを知る。 ● 作物の栽培時期の違い、適する条件を理解し、栽培の見通しを持つ。 ● 種まきの仕方や適した土の条件について理解する。 ● 作物の適切な手入れの仕方や管理を理解する。 ● 管理技術や飼育・栽培計画を立てることを理解する。 	栽培計画 栽培記録 定期テスト
9 10	情報に関する技術 情報通信ネットワークと情報セキュリティ 情報モラルと知的財産	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活や社会を向上させている、情報に関する技術に気付かせる。 ● コンピュータを構成する要素の種類や役割を知る。 ● 情報通信ネットワークの構成や伝える仕組みを知る。 	授業プリント
11 12	プログラミング (テキスト)	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報通信ネットワーク利用時の危険性や安全に利用する仕組みを知る。 ● 情報の正しい扱い方、ルールやマナー、モラルの必要性を考えさせる。 ● 人権、個人情報の保護の必要性、知的財産について考えさせる。 ● プレゼンテーションを作成するための見方・考え方を培う 	定期テスト レポート Microsoft PowerPoint
1 2	プレゼンテーションソフト		

3. 評価について

観点	評価の観点及び内容	評価材料
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境に対する負荷の軽減や安全に配慮して栽培する方法を検討しようとしている。 ● 新しい発想を生み出し、活用しようとしている。 	ワーク レポート 振り返りシート
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ● 目的とする生物の育成に必要な条件を明確にしている。 ● 社会的、環境的および経済的側面などから種類、資材、育成期間などを比較・検討している。 ● 目的とする生物の成長に適した管理作業などを決定している。 	ワーク レポート 振り返りシート
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ● 計画に基づき、適切な資材や用具を用いて、合理的な管理作業ができる。 ● 育成する生物の各成長段階における肥料や飼料の給与量や方法をはじめとした管理作業、およびそれに必要な資材、用具、設備などの知識を身に付けている。 ● プrezentationソフトを適切に使用できる。 	定期テスト プレゼンテーションスライド

学習の指針（シラバス）					
教科名	家庭	実施学年	3年	週時間	1時間（隔週）
1、学習の目標					
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> 実践的学習的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得する。 家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をより良くしようとすることができる。 				
使用教科書 副教材等	教科書：技術・家庭 家庭分野（開隆堂） 副教材：技術・家庭 ハンドノート家庭分野（正進社） どうぶつ低反発クッション（ISEC）				
2、学習計画及び評価方法等					
月	学習内容	学習活動の流れ・ねらい	備考	評価	
前 期	4 【オリエンテーション】 ・授業のきまり 5 【持続可能な家庭生活】 【家族・家庭と子どもの成長】 6 7 9 <ul style="list-style-type: none"> 心身の発達 幼児の生活と遊び 幼児のおもちゃを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習目標や学習内容・方法を知る。 誰もが尊重される家庭・地域の生活について考える。 自分の幼い頃のことを思い起こし、幼児の遊びに関心を持つことができる。 幼児にとっての遊びの持つ役割を理解する。 幼児の心身の発達（身体・情緒・言葉）や、生活習慣の形成の重要性を理解する。 幼児に合ったおもちゃを考え、市販のおもちゃや衣類の工夫されている点に気づき作品に生かすことができる。 製作を通して幼児への関心を深めることができる。 		ハンドノート ワークシート 小テスト 実習物 振り返りシート（自己評価） 期末テスト	
後 期	10 【家庭生活と地域の関わり】 ・多様な人々が暮らす地域 11 12 1 2 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者とのかかわり 【消費生活と環境】 家庭生活と消費 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人とのつながりや活動について考えることができる。 高齢者の特徴について知り、誰もが暮らしやすい社会について考える 様々な商法について積極的に調べることができます。 消費者基本法がわかりクリングオフ制度や消費生活センターなどの期間を知ることができます。 		ハンドノート ワークシート 小テスト 実習物 期末テスト	

3、評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

観点	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境について理解しているとともに、それらに係る技能を身につけていく。	☆作品の内容 ☆定期テスト ☆製作中の動き
思考・判断・表現	日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、様々な解決法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして問題を解決する力を身につけていく。	☆授業内の課題 ・ワークシート及びハンドノート ・作品の内容 ・振り返りシート ☆授業中の発言、参加状況
主体的に学習に向かう態度	家族の一員として、生活をより良くしようと、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	・ワークシート及びハンドノート ・振り返りシート ☆授業中の発言、参加状況 ☆授業への取り組み（忘れ物、宿題などを含む）

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

学習の指針（シラバス）					
教科名	保健体育	実施学年	3年	週時間	3時間

1、学習の目標

学習の目標	(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。 (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他社に伝える力を身に付ける。 (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を身に付ける。
使用教科書 副教材等	教科書：中学校保健体育（大日本図書） 副教材：ステップアップ中学体育（大修館書店）

2、学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	備考	評価
前期	4	スポーツテスト 体つくり運動（男女）	・グループ活動	・学習カード ・実技 ・記録 ・期末テスト
	5	集団行動（男女）	・グループ活動	
	6	マット運動（男子）		
	6	陸上競技（女子）		
	7	陸上競技（男子）	・グループ活動	
	7	マット運動（女子）		
	7	水泳事故指導（男女）	・グループ活動	
	9	パラスポーツ（男女）		
	9	ダンス（男女）	・グループ活動	
後期	10	バレーボール（男子） 柔道（女子）	・グループ活動	・学習カード ・実技 ・記録 ・期末テスト
	11	柔道（男子）		
	12	バレーボール（女子）	・グループ活動	
	1	長距離走（男女）	・グループ活動	
	1	サッカー（男子）	・グループ活動	
	2	バスケットボール（女子）	・グループ活動	
	2	サッカー（女子）	・グループ活動	
	3	バスケットボール（男子）	・グループ活動	
		ソフトフォームボール（男女）	・グループ活動	

※実際の進行状況により、上記計画から変更になることがあります。

3、評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	運動に関わる心身の動き、運動の行い方や作戦、体力測定の方法と結果の活用、運動や練習の原則及び生活における運動の取り入れ方や意義に関する基本的な知識を理解し活かしている。 運動の課題や行い方、戦術をもとに運動を行うことができ、運動の特性に応じた技能やゲームの進め方を身につけている。	・期末テスト ☆実技 ☆記録
思考・判断・表現	運動の特性に応じて、自己やグループの課題の解決を目指し、活動の仕方を考えたり工夫したりしている。また、その結果を適切に振り返り、次の活動に活かすことができる。	・ノート ☆話し合い活動
主体的に学習に向かう態度	自ら進んで運動の楽しさに触れ全力で運動しようとしている。また、運動の楽しさや喜びを仲間と共有できる。	☆授業への取り組み ☆授業中の発言、参加状況 ・家庭学習の取り組み

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。